

施策評価シート(令和3年度実施施策)

総合計画 体系	政策№	4	政策名	元気と賑わいのある産業づくり	施策主管課	産業振興課
	施策№	4-2	施策名	林業の振興	施策主管 課長名	小林 隆浩
関係課	産業振興課					

1. 施策の目的

対象	A 森林	意 図	A 良好な森林の自然環境と施業環境が維持されている
	B 特用林産物生産者		B 安定した生産が行われている
	C 森林施業者		C 安定した施業・生産・流通が行われている

2. 成果指標

2. 成果指標				上段：目標値		下段：実績値		
指標名		単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
A 森林保全を目的とした施業面積（増加）（現状値：H30時点）	ha	206	251	259	265	271	277	
			210					
B 生しいたけの生産量（増加）（現状値：H30時点）	kg	37,800	48,000	49,800	51,500	52,900	54,100	
			37,385					
C 木材生産量（増加）（現状値：H30時点）	m³	6,023	6,143	6,263	6,384	6,504	6,625	
			11,469					

3. 指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

民有林の間伐等森林整備については順調に施業されたが、国有林の施業面積が少なかったことが、目標値まで達しない要因と考える。
しいたけ発生時の温度管理のムラなどにより、品質の低下や収穫量が少なかったことが、目標値まで達成しなかった要因と考える。
コロナ禍における木材需要の増加により外国産材の輸入量が激減したため、国産材への需要に対し、十分な供給量を確保できない状態により木材価格が上昇したことが、木材生産量の増加した要因と考える。

4. 課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

・ふくしま森林再生事業による森林整備の推進を図るとともに、林業専用道の整備を行い、木材輸送の強化を図った。 ・特用林産物の振興のため、規模拡大をする菌床購入者に対して、補助金の交付を行った。

5. 次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

森林経営管理法に基づく今後の森林経営管理に関する意向調査を行い、町へ委託したいと回答のあった箇所については早期の経営管理権集積計画の作成を行う。また、ふくしま森林再生事業の実施により放射性物質の影響で森林整備が停滞している箇所の間伐・路網整備等の森林整備を実施し林業の振興に取り組む。更に、林業専用道の整備を推進し、森林からの木材搬出コストの低減に取り組む。 以上の内容や森林林業関係の情報については町広報紙等で周知啓発を行う。 また、特用林産物の振興のため、規模拡大のための菌床購入や施設整備などに支援を行う。

6．施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和3年度決算額 (千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	4835	林道災害復旧事業	8,890	評価対象外	評価対象外	評価対象外	
2	5004	林業総務事業	413	評価対象外	評価対象外	評価対象外	
3	5213	森林病虫害等防除事業	5,122	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
4	5237	ペレットストーブ等購入設置事業	100	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
5	5239	松倉分収造林保育管理事業	1,733	評価対象外	評価対象外	評価対象外	
6	5240	森林環境交付金事業	4,454	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
7	14693	森林資源活用推進事業	245	拡充	現状維持	②生産性改善	
8	15009	ふくしま森林再生事業	137,714	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
9	15334	特用林産物振興支援事業	200	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
10	15556	森林環境整備促進事業	13,639	拡充	拡大	①有効性改善	○
11	16752	森林公園等管理事業	12,843	現状維持	縮小	③効率性改善	
12	17443	林道整備維持管理事業	81,927	拡充	拡大	①有効性改善	○